

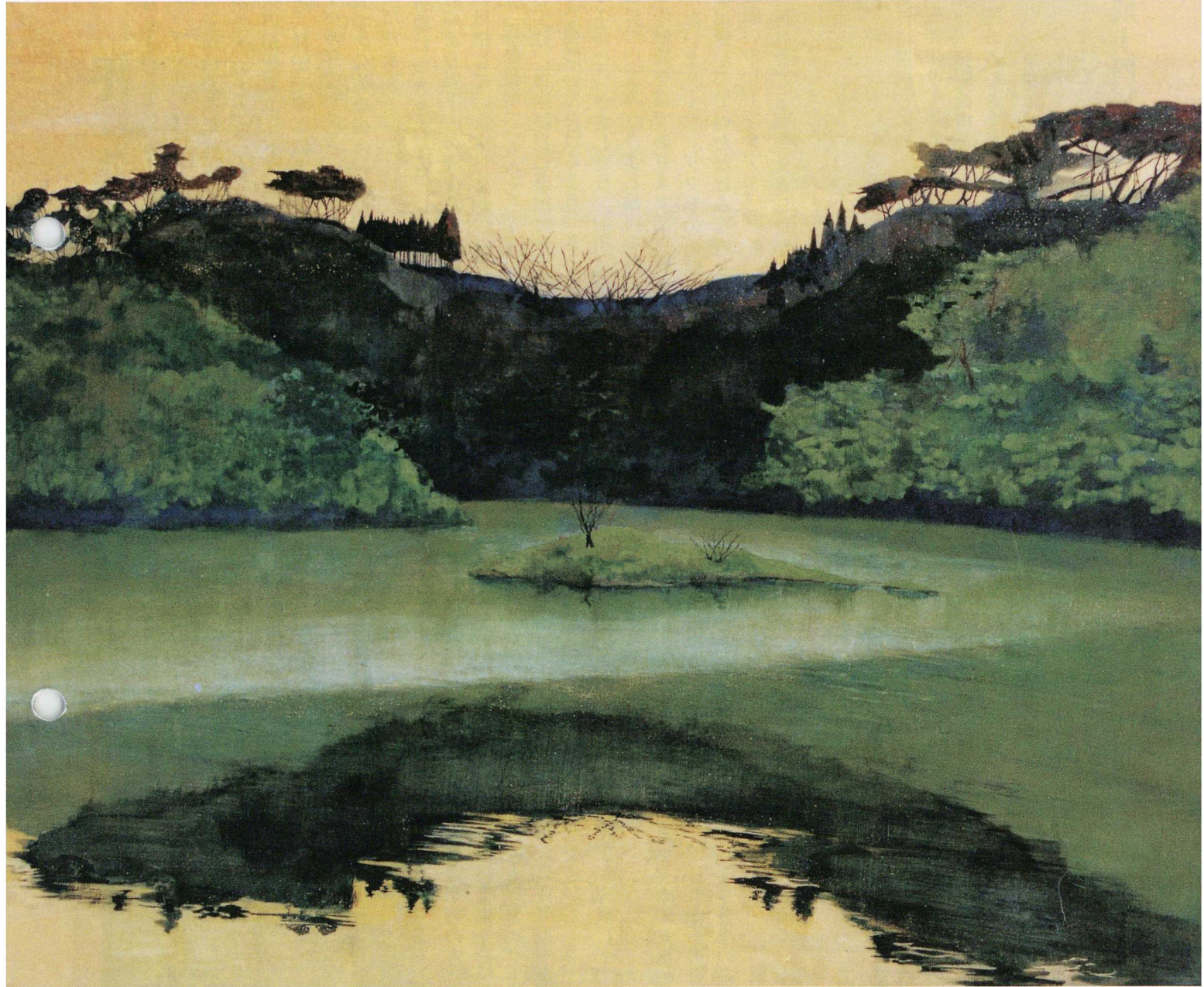
広
報

かなだの風

2002

1 / 1

NO438



筑豊美術展

「筑豊美術協会賞」受賞作品

内容は4ページに紹介

もくじ

年頭あいさつ P2～

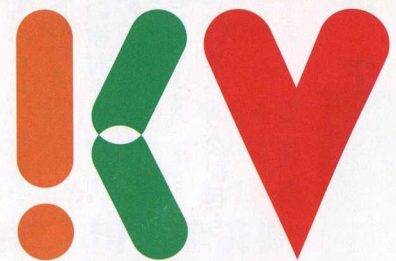
筑豊美術展 P4～

かなだ日記 P6～

お元気ですか？食進会です！ P10～

みんなのひろば P12～

くらしの情報ほか P14～



福岡県金田町



議会議長 若林 佐久馬

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

町民のみなさま方には、希望に満ちた新春をお迎えなされたことと、ご推察申し上げます。

昨年においては、長引く不況の中、同時テロ事件やアフガニスタンの戦火、狂牛病の発生等々と暗いニュースが続きましたが、12月1日皇太子妃雅子さまには（敬宮愛子さま）が誕生なされ、1年締めくくりの月に入って、実におめでたいニュースでした。

皇太子さま・雅子さまおめでとございます。

心からお祝いを申し上げますとともに、お健やかなご成長をお祈りいたします。

近年、政治・経済は勿論、教育・環境・老人福祉等、あらゆる分野にわたり急速な進歩と共に、地方分権によって町独自の政策展開の道が開け、個性ある町づくりのため自治体運営の能力を高めていくことが求められていると思います。

また、今まで産炭地を支えてきた石炭関係諸法が本年失効され、そのどれもが私たちの生活に関わりをもつものばかりであり、私たち議会も、町当局と共に、この急速な変動に遅れることなく的確な対応を心がけ、明るく住みよい町づくりに向け、最大の努力を傾注する所存でございますので、町民のみなさま方には、今後とも深いご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、みなさまの益々のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、ご挨拶いたします。

年の始めのお慶び申し上げます。

昨年9月アメリカのテロ事件に始まりアフガニスタンの戦雲はたちまちに世界の経済・政治・文化に影響を及ぼしました。

この事件の原因は深く、ただ「報復」論だけでは解決しない混迷と、見透し不能の事態が世界を覆いました。我が国でも50余年の平和の夢は崩壊し、国連にとっても難民援助と仮想敵への武力行使を行なうという矛盾した事態は憂慮に耐えません。「智恵出でて大偽あり」（老子）の通り人間の文明とはこんなに幼稚・未熟なものだったのでしょうか。核兵器、ロケットの精密さ、情報通信の拡大、産業経済の進展等は今度の事件で、人類破滅の深淵に臨む気持ちにさえ陥り、まさに「非常事態」のまま新しい年を迎えるという時が明けました。

今年は、国にとって機構改革、教育改革をめざす決意の年であり、地域にとりましては、石炭関係諸法の期限切れを控えて物心両面から対策と努力が求められる年ではありますが、最近の調査によりますと15才を基準にした30カ国以上の学力は、そのトップクラスであるが、それらの子どもたちの「読書意欲と量」は最低であるという実態が示されています。

宇宙科学も進歩していますが、限りなく拡がる星や天体や光は、見る人が暗闇の処に居て始めて見えるものです。知識や思考力も、生活の苦勞や困難に陥って始めて発見され、創造されるということはまことに不思議な真実であるといえます。ローマの人はミネルヴァのフクロウを幸福の使者と言って闇の中で物を見透す能力を信じたと言われますが、それは肉体の目でなく、心と体の全てで見る知恵を象徴したものであったと申せましょう。

先輩たちも苦悩・混乱・困難の中から逆に心と命の食物として知恵・体力・体制を創り出してきた事実を思いおこしましょう。そういう考えからすれば今年は「禍（ワザワイ）を転じて福（サイワイ）とする」絶好のチャンスではないでしょうか。干支も午の年で「ウマくいく年でありますように」年の始めに心から祈り、決意致したいものです。

教育長 田中 貴美男



恭賀新年

平成十四年の新年を迎えられましたことを、謹んで町民のみなさまにお慶び申し上げますと共に、年頭にあたり、今年の金田まちづくりに向け、みなさまにご挨拶申し上げます。

昨年は、小泉内閣の誕生で各種構造改革により、政治の慌ただしさが増し、九月にはアメリカでの同時多発テロにより世界中が恐怖のどん底に落とされましたが、私たちの日本では、先月の初めに、敬宮愛子さまが誕生され、国内が祝賀ムードに包まれていました。不景気の真只中、本当に変動の激しい一年だったと思います。私が一昨年の末に町長に就任しましてから、早一年が過ぎ、昨年は二十一世紀の初頭という記念すべき年でもあり、はやる心を抑え、町政を運営してまいりました。ところで、町長就任時に五つの公約を掲げ、町民のみなさまにお約束しましたので、これらについて反省も含め述べさせていただきます。

オープン町政、スピード行政につきましては、情報公開条例を審議委員会の答申どおり条例化し、内容については、マスコミ等により県下一の評価をいただき、昨年十月一日より施行いたしました。一方、現在、政治倫理条例の施行のため、制定審議会を開催し、今年度中の条例化を目指しています。また、毎週月曜日の朝一番に、町執行部と全課長による庁議を開催し、意見交換を行い、意思の疎通を図っています。そして、十一月より「移動役場」（タウンミーティング）を実施し、町民のみなさまの生の声を町政に反映できるよう努めてまいります。女性の地位向上につきましては、福祉課長に金田町ではじめての女性課長を登用し、保健センターには、センター長（係長）以下全員女性スタッフで、みなさまが健康面など安心してご相談いただけるよう、きめの細かい福祉を考えています。

また、自然と環境を守るルールにつきましては、河川公園整備をはじめ水辺の築校整備を慎重に進めております。施設が完成して、みなさまが安全で快適に利用できるよう、環境整備についてみなさまと検討を重ね、ルールの確立をしていきたいと考えています。

これ以外、前町長時代よりの継続事業であります拠点開発事業「金田温泉センター」（仮称）が四月にオープン致します。昨年末までに、総支配人や総務経理・営業担当者を配置し、ただいまハード・ソフトの両面を急ピッチで準備しています。金田町の真の拠点施設として、これからの金田町のセンターとして機能させ、町民のみなさまに可愛がっていただける施設として、また、町外からのお客様を呼び込める施設となるよう、みなさまの積極的なご利用と、口コミ等による宣伝もあわせてお願い申し上げます。

昨年は、新聞紙上で、談合情報などと騒がせましたが、今年は工事関係の指名制度のあり方や、入札制度についても検討を加え、オープン行政をさらに推進したいと考えています。

今話題になっていきます合併問題につきましては、一番重要なことは、みなさまの意思をどのようにこの問題に反映させていくかということだと思えます。みなさまの意見を伺いながら、即時に対応できる体制（行政機構の改革、職員の資質向上等）を役場内に作ることも、問われていると思います。

この一年間、いろいろな案件に遭遇し、同じような事業に予算を要していることや、過去よりの引き続きで、ただ予算付けをしているものなど、改革すべき点が多々あります。平成十四年より、これらの見直しを積極果敢に取り組み、行政の簡素化、効率化による経費の削減にも努力したいと思えます。

当然、これらの見直しに伴い、行政機構そのものの見直しも行わなければなりません。現在、役場内に事務改善委員会を設置し、これの検討を行っています。このように行政は常に町民のみなさまと共に生きています。常に再生や新陳代謝が必要と考えています。また、民間サークルや地域のみなさんとの密接な連携のもと、子どもたちや青少年が金田町の未来について夢を持てるよう、過去を見つめると共にいつも新しい明日へと歩き続けます。

今後、町民のみなさまと私たち行政とは、いろいろなところで、いろいろな話ができる機会がたくさんあると思えます。私もみなさんにいろいろな提起も致しますが、どんなときでも「金田町はみんなで創ろうよ」を合言葉に、「愛と心の街」を創るため、共にがんばりましょう。



町長 吉田 桃生

平成十四年正月

筑豊美術展

腕におぼえあり

筑豊美術協会賞（最高賞）【版画】

鶴田 正和さん



大学生の時から4年くらい日本画を描いています。今回の作品（表紙）は縦130.3cm横162cmの大ききで、田川市弓削田のため池「コガ池」を題材にしています。福岡教育大学卒業生で「JAMA」というグループを結成し、今年は福岡市美術館でグループ展を開催する予定です。

また、ホームページを開設していますので、アクセスして作品をご覧ください。<http://jamaart.tripod.co.jp/>

筑豊美術協会賞（最高賞）【版画】

若林 良明さん

版画を始めて4～5年になります。この作品は、福岡市の箱崎宮に行った時、3本の松の姿が気に入って題材に選びました。

制作には2か月ほどかかりました。



直方商工会議所会頭賞【版画】

桑野 志奈さん

版画を始めて3年目になります。この作品は、飯塚市内の水路のある風景を選び彫りました。題材は、歩いたり車の運転中に気をつけています。

美術展のあとで、いろいろな先生と話ができてとても参考になります。



奨励賞【彫刻】

吉田 繁俊さん

彫刻は、独学で1年半くらい前から始めています。私は27歳の時に事故で頭にけがをし、左半身不随になりました。

今は、身体に障害があっても彫刻がたのしみですし、励みにもなっています。みなさん頑張りましょう。

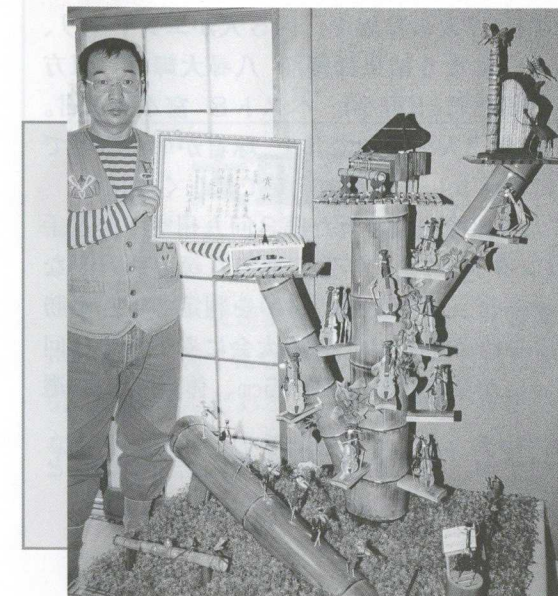
今回の作品は、宝見寺に12月9日寄贈しました。現在「竜虎」を制作中です。



奨励賞【彫刻】 吉田 廣さん

竹細工を始めたのは、1年半くらい前です。この作品は、秋の虫たちが鳴いているのを、オーケストラに見たてて制作しました。使っている竹は、ごさん竹・は竹・ま竹・もうそう竹などたくさん使っています。

今は、戦国時代の砦を舞台にした蟻の合戦の様子を制作しています。一緒に竹細工をしませんか。



きれいに育てよう



～園芸教室～

4回目を数える園芸教室が、11月27日に山倉ガーデンの山倉秀一社長を講師に招いて、青葉会の温室でありました。

山倉さんは、持参した鉢植え植物を一つずつ詳しく説明し、参加者は、珍しい植物には身を乗り出して質問したり、熱心によく聞いていました。

最後に、説明を受けた鉢植え植物のプレゼントがあり、花に負けない笑顔でいただいて帰りました。

花を育てることで、心を健康にしてください。

自分の思いを自分の言葉で

～人権に関する発表会～

12月4日から10日までの人権週間にあわせた行事として、金田町独自の取り組みで10年間続いている、「小・中学校児童生徒による人権に関する発表会」が、12月7日総合会館でありました。

事前に選考され入選した、ポスターの部小学生12作品、中学生12作品・標語の部中学生16作品・作文の部中学生12作品が、それぞれ自分がどういう思いを込めて書いたのかを発表しました。

子どもたちの思いを聞き、人権感覚を見直すよい機会でした。広報毎月15日号に、入選作文とポスターを掲載していきますので読んでください。子どもたちは真剣です。



真剣な発表

大盛況

～えびす祭～

家内安全・交通安全・商売繁盛・五穀豊穡・福德円満、打ち込みの音が夜空に響くえびす祭が、12月2日菅原神社境内でありました。福引きを楽しんだあと、ふるまい杵つき餅やカッポ酒に舌つづみを打ちながら、夜遅くまで大盛況でした。冬の風物詩として定着しています。



特賞を当てた 犬丸 南ちゃん

三十一文字の風景

～短歌大会～

十一月二十三日第二十一次金田町短歌大会が中央公民館で開かれました。ふるさとカナダふれあいフェスタの文化行事として、町内外から自作の短歌を募集して五十二首の投稿があり、その互選ならびに選者の歌を発表し表彰するものです。

当日はまず、出詠者全員の互選による結果が、上位から町長賞・議長賞・教育長賞・中央公民館長賞・文化連盟会長賞の各一首と入選三首が発表されました。同時に選者ならびに阿部重宏講師が選歌された天賞・知賞・人賞各一首と佳作五首が発表されました。阿部重宏講師から入選歌の選評と、出詠歌全部についての講評と指導があり、参加者は多くの感銘と励ましを受けました。受賞した入選歌は次のとおりです。



【選者選の部】
天賞 在りし日に妻が植えたる南天の紅き実たわわ北風に落つ

地賞 優しさは春に似ているそんな母彼岸おはぎはでっかく作る
福田 昌
稲富みつこ

人賞 直会もたけなわとなる祇園座にお当場渡しの盃交わす
奥村 秀子

【互選の部】

町長賞 柿すだれ大根すだれもほのぼのとわれを待ちくるるふる里のあり
三村 和子

議長賞 老いの身の旅の願ひもままならず少なき余生絵筆たのしむ
遠藤 毅

教育長賞 弾丸残る右脚かばい子等育て今日も畑打つ米寿の義父は
高橋 成子

中央公民館長賞 空席に座りて背のあたたかく今降りゆきし人の温もり
藤井 正一

文化連盟会長賞 一人降り二人が乗りし無人駅深み行く過疎彼岸花咲く
濱田イサオ

ミレニアムヒーローたちの最終章

～錬心館 冬の陣～

謹賀新年 2002年もチャレンジ精神で頑張りますので、本年もご支援を承りますようお願い申し上げます。

11月25日に第14回九州空手道大会（上段攻撃なしのライトコンタクト）が37団体の477人が参加して、直方市立体育館で開催されました。



小学2年生の部で福山晃大君が圧倒的なパワーでばく進、昨年の優勝者を破り優勝、59人の頂点となりました。小学4年生の部は67人の参加で、内5人がエントーリ、同門のつぶし合いになり結果は優勝 八尋大輝君（直方西小）、3位 平嶋駿君(上野小)、ベスト8 宮本貴章君。小学5年生の部は53人の参加で井上 琢君が準決勝戦で前蹴りが上段にヒットし、注意の判定で惜しくも3位。

12月2日に大分県で開催された第3回九州空手道選手権大会(フルコンタクト)で4年生の部で八尋大輝君がなんと全日本チャンピオンの大分の選手を判定で下し優勝しました。空手を始めて1年目で10大会に参加して9回目の優勝です。5年生の部では、福田浩司君（身長139cm、体重42kg）が準決勝で身長175cm、体重90kgの選手と対戦して善戦しましたが判定負けで、3位になりました。

1年間の頑張りが着実に成果となり、優勝者はクラスに1人だけですが、全員が自分の目標に結びついたと思います。

レポーター 堀池 弘幸